小海町 公民館報

町花・サラサドウダンツツジ

迎春

“飛躍”の年に

もくじ

町長年頭所感…… 2～3ページ
公民館長新春あいさつ…… 3ページ
羅針盤…… 3ページ
新年特集・年男、年女…… 4～5ページ
みんなの楽集館…… 6ページ
人権に関する標語…… 7ページ
小海小学校4年生よりお知らせ … 7ページ
教育委員会だより…… 8～9ページ
地域の歴史⑭…… 9ページ
町の広報…… 10～19ページ
やすらぎ園だより…… 20～23ページ
未来へはばたけ…… 24ページ

第540号

令和4年12月1日現在
（　）内の数字は前回対比です

世帯数　1,950戸（－65）
人　口　男性 2,132人（－63）　女性 2,196人（－ 6）　合計 4,328人（－69）

発行日　令和5年1月1日
発行者　小海町公民館
編集者　小海町公民館報編集部
長野県南佐久郡小海町豊里285番地
ＴＥＬ 0267-92-4391
印刷所　臼田活版株式会社

大変な時代を 町民一丸となり乗り切り、元気な小海町の構築を

小海町長
黒澤 弘

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては各々のお立場で輝ける新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年二月の町長選挙において、皆様からのご支援により当選の栄に浴し、再び町政の舵取りをさせていただく事となりました。一期四年の経験と反省をもとに、力強く精力的に行政を進めてまいります。

昨年を振り返りますと一昨年同様先ずコロナ問題に明け暮れる一年でありました。令和三年四月に初の緊急事態宣言が政府より発動され昨年三月二十一日の、まん延防止等重点措置終了まで、五回の措置が講じられました。その都度地方行政もこれに伴い、様々な対策を取ってまいりましたが、全ての産業において、経済での悪化を招いてしまいました。特に非製造業、飲食、宿泊業、小売業等では、度重なる行動制限等により、業況の悪化が増し、今までに経験の無い不安定経営となってしまいました。

町では対策としまして、国からの交付金を活用し、町内で使用できる商品券、お食事券の配布、各事業者の皆様への経営継続支援事業を行なってまいりましたが、これで充分だと言える状況ではありませんが、各事業者の皆様、町民の皆様から好評をいただいております。

また、最も大きな情勢の出来事であります、ロシアによるウクライナ侵攻があり、現代社会の中での出来事とは考えにも及ばぬ事であり、報道等でもあまりにも悲惨で醜い有様が私達に伝わって来ております。戦争によるメリットは何も、だれにも無いと思いますが国際情勢の中での本当の意味での世界恒久平和を望むところであります。そしてこの戦争による日本への影響は、原油、農産物、様々な資材の高騰等であります。特に原油、肥料、飼料の急激な高騰は農業振興に対しては大打撃を受けており、その対応としまして、国・県の支援事業の活用とJA長野八ヶ岳との連携を密にし進めますが町単独事業も実施・充実をしてまいります。度重なる悪影響により好結果は得られませんでしたが今年こそ良い知らせを期待するところであります。

遊休農地対策、特産品開発として進めております、そば、鞍掛豆につきましては、小海産冷凍そばの試行錯誤による開発が実をむすび、シャトレーゼ、レジャー施設を中心に好調な販売が続いており鞍掛豆も、きな粉、缶詰等による他には見られぬブランド化も前進しております。ワイン用ブドウの試験栽培も進み、親沢地区での栽培は作付面積も広がり今年の成果に大きな期待がもたれます。川西地域も含め小海町に合ったブドウの品種を早く・確実に見極めていきます。

小海駅前再整備につきましては、五～十年先を見据え、小海駅舎業務簡易受託を受けるため体制整備の検討をすると共に、取得の駅舎の一部及び周辺土地、駅舎二階やショッピングセンターアルル等を含め、大勢の皆様「誰もが憩い、集うことが出来る拠点づくり」を目指し、再整備計画の策定とともに、可能なところから実施を考えております。

そして、定住促進事業につきましては、本間村上地区に造成しております三十七区画の宅地を今年春の販売に向け準備を進めております。求めやすい販売価格の設定と共に、PRを進め町内の優秀な業者の皆様も営業努力をいただき、町の補助制度の充実を検討してまいります。社会問題となっております少子高齢化の歯止めとなりますよう進めてまいります。

地元「小海高校」の存続支援、魅力を深めるため、今年は小海駅からの通学支援、学力UPのための別枠での学習支援などを検討・実施してまいります。さらなる充実した内容の学校を目指し一人でも多くの生徒の皆様が受験する事を望みます。またスケートの伝統と歴史を守り発展させるためスケートセンター施設の整備・運営を国・県、広域等からの支援をお願いしながら実施に向け努めてまいります。福祉関係においては、障がい者グループホームの建設に向け、土地の選定と早期完成を目指し立案、実施に向け進めてまいります。また高齢者等の移動手段を大きく向上させるためデマンド交通（予約型乗り合いタクシー）の本格的な導入を目指し今年から試験運行を行ないます。利用者の皆様には、現況での幅広いご意見、希望を遠慮なく申し出ていただき使い勝手の良い、効果的な事業実施を目指します。この四年ほど力を入れてまいりました「憩うまちこうみ」事業につきましてはプラチナ構想ネットワークより、プラチナ大賞、ウェルビーイング賞を受賞し現在長野県で進めております、みんなの幸福を求める行政をいち早く取り組んだ結果となりました。協定を締結した企業は二十四社となり、地域プロジェクトマネージャー、地域おこし協力隊員の二人を中心に憩うまち協議会の自立と町民の皆様の参加によるイベントなどを進めてまいります。

世界的な問題となっております、ゼロカーボン関係では、電気自動車を企業版ふるさと寄付により導入し、

また住宅への太陽光発電設備等の促進のための補助制度の充実に向け検討してまいります。その他、森林環境への支援、バイオマス発電計画への支援、現在工事中の八峰の湯の改築に伴うバイオマスボイラーの導入など進めてまいります。中部横断自動車道につきましては、本年、ルート帯が決まる予定であり、事業着手に向けまさに正念場であります。広域的、精力的に早期実現に向け力を注いでまいります。

先に行なわれたプロ野球ドラフト会議において、本間川の内田湘大君が広島東洋カープの二位指名を受け、小海町初となるプロ野球選手となりました。今後体づくりをしっかりと行ない、活躍を期待します。又、我町出身の新海誠監督の新作「すずめの戸締り」が全国、世界でも大ヒットしております。内田君、新海誠監督とも町に大きな希望とよろこび、光明をもたらしていただきました。町民の皆様の更なる応援をお願いいたします。

町としての施策は多数ありますがどれ一つとっても皆重要であり行政中心であろうかと思います。その責任を痛感し今年も業務に邁進してまいります。結びに、町民の皆様全員のご多幸、ご健康をお祈りし、新年の挨拶といたします。

新春あいさつ

地域に根ざす公民館

小海町公民館長　井出和利

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には日頃より公民館活動にご参加ご助力いただきましてありがとうございます。

コロナ状況となって丸三年が過ぎ、今年は四年目に入ります。

昨年は公民館事業のうち屋外の活動は計画通りに実施し、また森の音楽祭もできましたが、屋内事業の多くは、夏以降のコロナ感染拡大で前年に引き続き中止せざるを得ませんでした。

そんな中、昨秋開催された小海町文化祭は五十回を迎えました。（内容は前号館報に）

コロナ禍ということで、特に令和二、三年は近隣市町村では文化祭を中止したところがほとんどでした。この間、小海町も多くの行事は取り止めたものの、この文化祭は中断せずに開催してきました。無論、座席間を空けたり、換気など感染対策を十分配慮したうえでしたが、厳しい状況下でも実施できたのは、町民の皆様の文化祭に寄せる意気込み、熱意が根底にあったからこそと思います。

町外の方から時折「小海の人たちは地元への愛着が強いですね」と言われることがあります。私も公民館にかかわらせていただき、文化祭に限らず、公民館活動の折りにふれて町民の皆様の「わが町」「わが地域」への熱い思いを感じることがしばしばあります。

ところで、ご存知のように小海町には町公民館（北牧楽集館）があり、十一分館（区域）があります。そして各分館には小地域ごとに地区公民館（集会所）があります。（第六分館は土村集会所のみですが）それら地区公民館は合わせて二十七館にのぼります。

数年前の調査によると、県下の市町村立の公民館は二四九館、地域の自治公民館は三八〇六館となっています。後者の前者に対する比は約十五ですので、小海町の地域の公民館数は群を抜いて多いことがわかります。

この地区公民館にその住民が集い、住民の手で活動が行なわれ、まさに地域づくりが進められてきました。

時代を経て、かつてのような公民館活用は少なくなってしまいましたが、住民の人たちにとって公民館の存在は、いまなお相互の結びつきとともに地域への愛着も育んでいるのではないでしょうか。

冒頭にも述べましたが、本年もまだコロナ状況は続くものと予想されます。昨年から行動規制がだいぶ緩和されましたが、感染対策を配慮しながら、できる限り公民館活動を進めたいと考えています。

町民の皆様のますますのご健勝をお祈りしつつ、本年も公民館活動へのご参加、ご協力をお願い申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

例年、新春号に二十歳を迎えた方の名簿を掲載しておりましたが、今年度、二十歳を迎えた皆様に名簿の掲載希望のアンケート調査を実施したところ、掲載を希望しない方が多数いらっしゃったことから、今回、二十歳を迎えた方の掲載を記載しないこととしました。

何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

羅針盤

新年明けましておめでとうございます。

振り返ってみると、三年前から続く新型コロナウイルスの感染拡大は第八波にもおよび、集団感染が続く中私たちの生活は大きく変わってしまいました。

各種行事が中止や延期され、楽しみにしていた地域に根付いた伝統行事にも影響が出ました。

ワクチン接種は進んでいるようですが、日常生活への自粛、我慢にも限界が有ります。

オミクロン株への変異などにともない、コロナの致死率はずいぶんと低下し、重症化率はインフルエンザを下回るとの統計もあるようです。過剰な対応をやめて生活を元に戻す事が可能な時が見えてきたようです。

うさぎ年は「飛躍」や「向上」の時と言われているそうです。食品をはじめ、あらゆる生活物価の値上がりが続いていますが、今年はコロナの収束と大きな事故災害の無い一年であります よう、願っています。

〝卯〟年男・年女の皆さんに新年の抱負を語って頂きました

公民館報
編集委員会

平和な年に

馬流　堀込　久美子

旅先でうさぎのグッズに目がいくのは、私の干支がうさぎであるからだろうか？いつしか多くのうさぎで私の部屋は賑やかになっている。

高校を卒業と同時に東京に就職し結婚、二人の子供と主人の四人で実家に帰ってきてから三十余年が過ぎ七人家族でスタートしたこの地での生活も、父を送り主人、母と亡くなり、今はたった三人の生活となってしまった。

四十歳で小海にもどり山や川や友も温かく迎えてくれた。六十二で退職してからは、趣味の編み物を習い始め、自己流だった作品も人様にも見ていただける品が出来る様になりとても楽しみです。

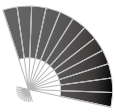
地域のお役に立てる様いろんなお手伝いもさせていただいています。

七十を越えると体の方も悲鳴をあげてきて、あちこちの通院券で財布の中はいっぱいになってきています。

これから母の生きた九十七歳まで頑張れるだろうかとふと思う。まだ二十年以上もあるのに・・・

自然に囲まれ、親しい友とのお付き合いをしながら残りの人生、少しでも人の為、地域の為になる毎日が送れる事を望んでいます。

ともあれ今年が平和でコロナもおさまり、前の様に皆で気軽に行き来出来る年になるように祈っています。



できることから始めよう

芦平　中嶋　勇一

還暦とは十二支と十干の組合せが六十年で一巡することから『生まれた時の暦に還る』といった意味から成り立つそうです。本年はその還暦になり、来年三月には平成元年から勤務したJAを定年退職することになります。小海町の皆様には公私に渡り、大変お世話になりました。

さて、新年の抱負ということですが、日々を呑気に暮らす私には、人生を見つめる良い機会を頂けたと思っています。無事是名馬とはかけ離れた生活を送ってきましたが、定年という大きな環境の変化を目前として、この先どうしようか思案しました。

私の家族構成は卯年生まれの妻と八十九歳の父の三人です。昔ほどではありませんがご近所との交流もあり、声をかけて頂くことが父には嬉しく、楽しい事のようです。自分が無理せずできる範囲の中で、地域の方々に僅かでも貢献することが大切ではないでしょうか。例えば、ちょっとした声掛けや最近の体調などを伺うだけでも、一人暮らしの高齢者等にとっては心が和むものと思われます。一人の力は小さくても、声掛けの輪が広がれば大きな力を生みます。これをきっかけに数々の制約がある中でも、買い物や通院の手助けまでもすることができれば、大きな地域への貢献に繋がるのではと考えています。

祝!! うさぎ年

二タ小池　山口　みえ子

新年明けましておめでとうございますぴょん!!

小海にて四度目の干支を迎えました。うさぎ年!!

そう！お店の店名もうさぎ、「しなの芋うさぎ」という焼き芋屋をやらせて頂いております。小海大橋たもと小海交番前に店舗があります。テラス席からは小海線が眺められ小海の景色も楽しめます。お芋は農家さんが作ってくれたお芋を、大きな壺に入れ、良い炭でゆっくりじっくりと心も込めて焼いております。身体に優しいスイーツです。そんなお店で出会うご近所の方、地域の方々小海町にはステキな方が沢山いらっしゃいます。お芋を運んでくれる方、お店の場所を貸して下さる方、お花を植えて下さる方、着物の布で服を作って下さる方、草刈り雪はきをお手伝いして下さる方、挨拶し元気よく手を振ってくれる方、「お芋おいしかったよ。」と言って来てくれる方、笑顔にして下さる方ばかりです。まだまだ未熟者で沢山の方々にお世話になってばかりの私ですが本年は私も皆様のお役に立てるよう、笑顔に出来るよう、がんばっていきたいです。

皆様にとって何事も卯まくいってぴょんぴょん飛び跳ねるほどうれしい事が沢山あるうさぎ年でありますように♡お店でお待ちしております～すぴょん!!

本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

今、思う事

本間下　井出　圭亮

令和二年より、奇しくも新型コロナウィルスの流行

とともに家族三人で小海町に移住してきました。出身は隣村ではあるのですが、移住当初は不安ばかり。新型コロナウィルスの影響もあって地区の行事も中止や延期が相次ぎ、皆さまと接点を持てる機会が多くないまま淡々と日々を過ごしていたように思います。特に長男は小学校入学と同時に新生活が始まり、いきなり転校生という立場で私達の何倍も不安だろうと心配していました。

そんな心配も杞憂に終わり、みるみる新生活に馴染んでいき、学校生活をエンジョイしているようです。地区の行事も徐々に開催され、少しずつ地域の繋がりもでき、趣味にどっぷりと浸かり、我が家に新しい命が誕生するなど、慌ただしくも充実した日々を過ごしております。

今年は卯年。早いもので三回目の年男を迎えました。若いころに見た三十代はとても大人に見えましたが、いざ自分がその立場に立つ景色はそれとは全く異なり、イメージした「大人」とは言い難いのかな、と痛感します。とはいえ、せっかくの年男。二児の父親として、妻を微力ながら支えられる夫として、仕事に、趣味のゴルフにと、ウサギのように飛躍の年にできればと思います。二兎を追う者は一兎をも得ずにならないように、一つ一つを丁寧に。

いっぽ

八那池　平出　莉佳

昨年の三月に大学を卒業し、四月から、小海町とは八ヶ岳を挟んで反対側の位置にある、茅野市で教員としてのいっぽを踏み出しました。元気いっぱいな一年生の子どもたちと共に、はじめてだらけの日々を過ごしています。

教員になって早、九カ月が過ぎました。働きだしてすぐに入学式があり、右も左も分からない状態のまま子どもたちと出会いました。新型コロナウイルスの影響で、二学期に運動会と遠足と音楽会の全て行うという怒涛の日々も過ごしました。この九カ月間は、毎日が初めてのこと、わからないことだらけの日々でした。喜怒哀楽、本当に様々な感情を抱きました。正直、今は教員生活毎日が楽しい！と言い切ることは出来ません。上手くいかないことも多く、大変だなと感じることもありました。ですが、それと同時に、子どもたちの変化や成長を感じることが出来たときには、面白いなと感じることもあります。

昨年は、周りの先生方や暖かい保護者の方にたくさん支えて頂いて、なんとかやってこられました。二年となる今年は、私だからできることは何か、自分らしさを大切にしながら子どもたちと関わっていきたいなと思います。もちろん頑張ることは大切ですが、それと同じくらい、休むことも大切にしながら、いっぽいっぽ頑張っていきたいです。

今年の目標

小海小学校　折井　絢花

私の今年一生けん命がんばりたいことは、二つあります。

一つ目は、委員会やクラブです。私は、今年六年なのでまとめることも多いし、学校のリーダーとしてやることも多くなると思います。私が知る六年生は、責任感が強くてまとめるのが上手でした。「すごいな。いろいろ工夫していることもある、私もそんな六年生になりたい」と思っていました。他に委員会やクラブ以外でもまとめることができるようにがんばっていきたいと思います。

二つ目は、バレーボールです。私は、バレーボールクラブに入っています。バレーボールは、ひじやひざなども使うけれど、ステップもあります。何年もやっているけどわすれてしまうこともあります。けれどステップのことすら知らない子もいます。なので、みんなに教えてあげる事、それも今年の目標だと思います。そして、チームのみんなで、一生けん命がんばって勝利を目指したいです。

この二つ以外でもまだまだ目標はありますが、主にこの二つの目標を達成できるよう、一生けん命、失敗をおそれずにがんばっていきたいと思います。

今年の目標

小海小学校　藤本　輝

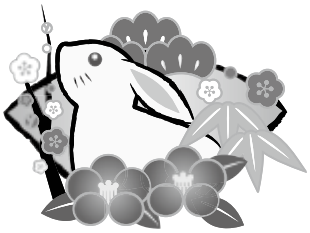
ぼくの今年の目標は四つあります。

一つ目は友だちのことです。今もよく遊ぶ友だちはいますが、今年はもっと友だちを多くして小学校最後の一年を楽しみたいです。

二つ目は学習です。苦手な教科を、得意にしたいと思います。算数は、基本的な計算もまちがえないように、じっくり考えて確実にできるようにしたいです。

三つ目は運動です。体育は得意なのですが、とび箱・マラソンなど体育の中でも苦手なこう目はあります。なので、苦手なこう目をせいはし、中学でも楽しめるようにしたいと思っています。

四つ目は夢のことです。ぼくは、夢をもっています。ぼくの夢は、動物園の飼育員になることです。動物が好きなので、まだ会ったことのない動物とも、ふれあってみたいと思っています。だから中学、高校でも、夢を追い求められるように、動物の本を読んだり、基そ的な学力をつけたりしたいと思っています。今年は最後の小学校生活なので、くいのない一年にしたいです。



みんなの楽集館

第30回 人権を考える町民の集い開催

（一社）タウンスペースWAKWAK業務執行理事兼事務局長　岡本 工介 さん

“差別をなくす”から“手をつなぐ”へ　～ルーツを大切に生きる～

11月27日㈰第30回人権を考える町民の集いが小海町総合センターにおいて開催されました。当日は93名の方々に参加していただきました。

今年度の集いも、コロナ禍のため規模を縮小して、小中学生の標語の掲示と記念講演のみの開催となりました。

記念講演は、現在、大阪府高槻市富田地域に基盤をおき、社会的包摂のまちづくりに携わる一方で、大学の非常勤講師等も務める岡本工介さんを講師に、“差別をなくす”から“手をつなぐ”へ～ルーツを大切に生きる～と題し講演が行われました。

岡本さんは、野辺山ウルトラマラソンに参加されているとのことで、時折マラソンの話を交えながら約90分間の講演となりました。

文字が読めずに書類の手続きに困っている方に遭遇したことがあり、日常にはこういった悪意のない社会的排除で“ひとりぼっち”になっている方がいる。社会的包摂のまちづくりとは“ひとりぼっち”がいない、そんなまちづくりを目指していると、話をされました。また、高槻市で空き家を改修し、地元の子供達に元教員の方や教員を目指している学生が学習支援を行い、学びに対する支援をまちぐるみで行っている取組みを、動画を交えて紹介していただきました。

学びを通して子供の可能性を広げ、地域住民が繋がり、地域で支え合うことが社会的包摂のまちづくりに繋がるのではないでしょうか。

1月・2月の生涯学習事業

○体育行事

第72回松原湖スケート大会
小学生の部
1月9日(月)

第25回松原湖高原スケートセンター杯
1月28日(土)

第29回ソフトバレーボール大会
2月26日(日)

○令和5年二十歳の集い
1月3日(火)
小海町総合センター

○手芸教室
1月19日(木)

○押絵教室
2月2日(木)・16日(木)

○親子スケート教室
1月16日(月)
2月6日(月)・20日(月)

○移動図書
1月22日(日)
1月10日(火)・17日(火)
2月7日(火)・21日(火)

「ギャラリー創」からのお知らせ

○第18回灯り展
2月5日(日)～26日(日)
15時まで
陶芸・ステンドグラス
ひょうたんなどの手作り
灯りとペーパークラフト
・ヒンメリ展示
松原湖観光案内所
電話　93－2005
水曜日休館

今月の図書館　新刊ピックアップ

■おばあちゃんのななくさがゆ
野村たかあき

おばあちゃんから七草粥の由来を教わり、作って食べるまでが、優しい木版画で描かれている行事食絵本です。小海では「せり・なずな・はこべ・すずしろ〈大根〉に、ごぼうや人参などを取り混ぜていた＊」そうですよ。年の初めに若菜の力を頂いて、無病息災を祈る七草粥をどうぞ召し上がってみてください。　＊「小海町誌　社会編」参考

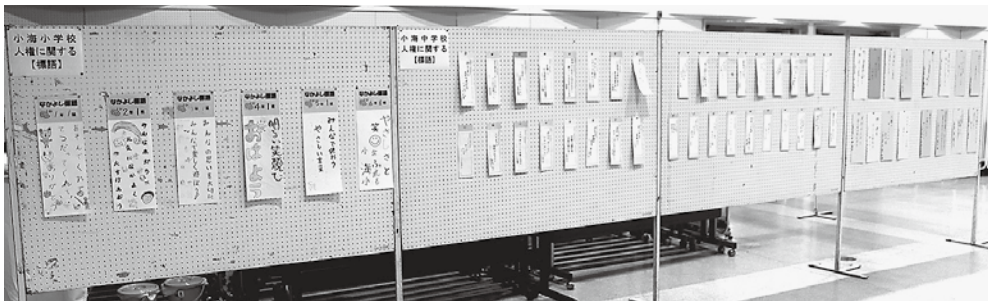
唐土（とうど）の鳥と
日本の鳥と
渡らぬ先に
すととのとん

1月の企画コーナー

- ●何がでるかお楽しみ福袋
- ●みちみち
- ●ひとみにくぎづけ
- ●2022年度受賞作

人権に関する標語

今年度も、小海小学校、小海中学校から人権に関するたくさんの標語を提出していただきました。また、第41回全国中学生人権作文コンテスト長野県大会佐久地区において、小海中学校生徒の作品が入賞されました。



小海小学校、小海中学校の標語を掲示しました。

優秀賞
「みんな違って　みんないい」
中学二年二組　新海　花梨

奨励賞
「言葉は薬」
中学一年一組　篠原　京花

小海小学校4年生よりお知らせ

私たちは、授業で「小海小の四季」の写真を撮りためてきました。地域の方々に見てもらえたら嬉しいです。写真は、楽集館にかざってあります。また、チラシについているQRコードを読み取り、小海町のHPからも見ることができます。ぜひ見てください！

小海小学校の近くにはたくさんの自然があります。
私たちの一番のベストショットを小海小学校の卒業生にみてもらいたくて公民館報にのせてもらいました。
あと、なつかしく思ってもらいたいです。
小海小

～4年生からお知らせ～

ここにかざります。楽集館です。

町のホームページでも見れます。

教育委員会だより
教育こうみ

共育の広場

Vol.66
…1月号…

小海小学校　しあわせのいちょう

毎年11月は、人権について考える「なかよし月間」があります。

今年も、異学年で協力しながら行うふれあい清掃や、大切な名前の呼び方について考える校長講話がありました。

また、学級ごとになかよし月間のめあてを考え、標語にもしました。

１年生：あそんでくれて　てつだってくれて　ありがとう
２年生：みんな友だち　元気になかよく　たすけあおう
３年生：みんなの思いを大切に　みんなで楽しく遊ぼう
４年生：明るい笑顔で　おはよう
５年生：みんなで使おう　やさしい言葉
６年生：やさしさと　笑😄あふれる　小海小

標語とともに階段に貼られたメッセージカード「しあわせのいちょう」には、普段なかなか言えない「うれしいな」「ありがとう」の言葉がたくさん書かれました。

「委員会の時、私が困っているとアドバイスをしてくれてありがとう」「いつも一緒に遊んでくれて嬉しいよ」「落ち込んでいる時もそばに居てくれてありがとう」…

優しい言葉の数々に、とても温かい気持ちになった11月でした。

小海中学校　いのちの学習

小海中学校では「いのちの学習（性教育）」に取り組んでいます。

２学年の授業を紹介します。恋愛や性についての情報を友人や噂、SNSなどから得ている生徒たちに、その情報の信頼性や正確さをどのように確認しているのかと問うと、「いろいろな人に聞いてみる」「その情報の評価の高さで決める」「その人やSNSの信頼性」などと答えていました。意見を共有する中で、自分の身体のことで何か不安や心配な事があったら保健室の先生や他の先生方、医療機関で専門家に相談することが大切であると学びました。

次に性の情報をネットで調べることについて、SNSなどの情報の信頼性や正確さを疑うことの大切さを考えました。「SNSでおかしいと思う情報は信頼できない」という共通認識をする中で、「いかにSNSの情報が危ういか」を訴えたり、「インスタ系の情報だと信じてしまうかも」と本音で語ったりする生徒の姿がありました。危機感を感じることもできたようです。さらに、相手の気持ちを考えることの大切さを学ぶ中で、個人で考えたり、友人と相談したりすることを通して、相手の気持ちを考えられない時の自分自身について振り返り、深く考える姿がありました。

今後も「いのちの学習」を大切に考え、継続して実施していきます。

今!小海高校　筑波大学大学院との交流会

11月１日㈫、今回で22回目となる筑波大学大学院との交流会を実施しました。日本近現代史がご専門の伊藤純郎先生と伊藤ゼミの大学院生10名を本校にお招きし、１・２学年の生徒が総合的な探究の時間の授業に取り組みました。

２年生は、大学院生のサポートのもと佐久穂町大日向の満州分村の歴史について学習をしました。５時間目に院生の皆さんとのグループワークで史料読解と仮説設定を行い、６時間目に伊藤先生から満州分村についてご講演頂きました。現地満州の人々から見た入植、中国残留孤児の問題、また戦争の記憶など現代の平和を考えるためのいくつもの問いを投げかけられました。

１年生は、大学院生の皆さんから進路についてのお話をお聞きしました。これまでどのように進路決定をし、これから先どのようなことを目指しているのか、高校時代にやっておけばよかったと考えていることなどをお聞きし、生徒たちは自分自身の人生や進路について考えを深めました。

教育委員会情報 11月

●町教育委員会、中学校組合教育委員会総合教育会議
（令和４年11月30日）

・町長及び中学校組合長、副組合長と教育委員、学校長が意見交換を行いました。

熱い共育人 vol.64

小海小学校
おおぞら担任
石川 のぞみ

「一人一人に合った学びを…」

昨年度より、お世話になっております石川のぞみと申します。私は小海町の隣の北相木村の出身です。小さい頃から上の道路を通る度に小海小学校を眺めていたので、いつも「どんな学校なんだろう？」と興味津々でした。そんな私にとって、小海小学校に赴任が決まった時は、ワクワクとドキドキで胸がいっぱいになったことを今でも覚えています。

私が小海小学校で担任をしているのは、特別支援学級という学級で、少ない人数で学習や活動をしています。今年度は、～みんなで作った野菜を給食に出してもらおう～というテーマで野菜づくりに力を入れて活動してきました。なすやミニトマトは初めて種から育て、苗が根付くまで毎日子どもたちと水やりをしたり、草を取ったりしました。土や草に触れなかった子どもも畑で活動する時間を重ねる中で、土に触れるようになり、自分から野菜のお世話をするようになっていきました。そんな子どもの姿から、教室の中で野菜がどうやって育つのかを調べることも大事だけれど、実際に育てている野菜と向き合う時間が１番大切だということを学びました。様々な苦労を経て、自分達が作った野菜が給食に出たときは、みんな喜びの笑顔に満ちあふれていました。

私は、子ども達の喜ぶ顔を見られるのがこの仕事の１番の魅力だと感じています。これからも子ども達の喜ぶ顔が増えていくように、一人一人の個性や特徴を見ながら、その子に合った学習をしていきたいと思っています。そして、これからも小海小学校の子ども達と楽しい毎日を過ごしていきたいと思います。

地域の歴史(14) 八那池

八那池村の由来について、小池捨松さんの説

村名の由来―全く不明なり、現今は存在しないが、古い湖沼と思われるもの八ヵ所あり、上手の池（今尚あり）、十二神社の池、きつうろくの芝地、おおやち、猿池、亀溝（かめどぶ）堤池、びりも池などがあり、これ等八個の沼地の湖沼を村名となしたるもの、と思われる。―と書かれている。また麻干場の地名も残されており、中世のはじめに、麻が年貢の主要産物だった頃から残った地名ではないか。

「村の始め」

村内には五輪塔が四基あり、うち二基は完全な形で残されており、鎌倉時代（一二〇〇年頃から）、残りの二基は室町時代前期（一四〇〇年頃）に造られた墓とみられる。川上村文書によれば【寿永三年～元暦元年（一一八四）に平家が滅び、その残党が古府中（現在の甲府市）に住んでいたが、さらに一統婦女子まで含め五十一人で川上郷に移住し（若神子から信州峠を越えたか）その中に川上六騎という項があり、正治二年（一二〇一）菊池藤蔵、吉沢右近、油井但馬、新海織部、藤原大和、林宮内が川上郷に来たる。そのうちの菊池藤蔵の三男が八那池に定住した】と記されているので、あるいはこの記述と五輪塔が一致しているのかもしれない。八那池の村名がはじめに出てくるのは天文時代と思われる絵図で、いずれも十一貫文と載せられている。

何枚かの絵図の中には、八那池と松原が同一集落として記載されている絵図もあり、十二神社の石段が松原から下ってくるところにあるのは、その頃の名残だといわれている。また八那池は松原、稲子、馬流と共に松原氏の支配下にあったようで、松原氏三十九貫文の所領の中に入っている。（八那池十一貫文、稲子十一貫文、松原十貫文、馬流七貫文）これは甲斐の国の武士と信濃国の武士が争い、何百から何千人の兵士が通過する道筋が馬流の地蔵平～八那池のつっこし原（鳳凰の松）が軍用道路だった事から見ると、馬流村が松原氏の所領だった事がわかり、現代では見られない構図である。

村の力を示す数値に村の持ち高があるが、文禄四年（一五五九）八那池松原として十一貫文（十九石三斗）元和三年（一六一七）一九石三斗とある。

寛永六年（一六二九）
四十二石五斗
人口―三十四戸―七十九人
元禄十年（一六九七）
九十二石二斗
人口―四十五軒―百八十五人
安永三年（一七七四）
百七石六斗
文化十四年（一八一七）百二十六石七斗
人口―五十四軒―二百四十二人

これを見ると、村は順調に発展してきた様子がわかる。

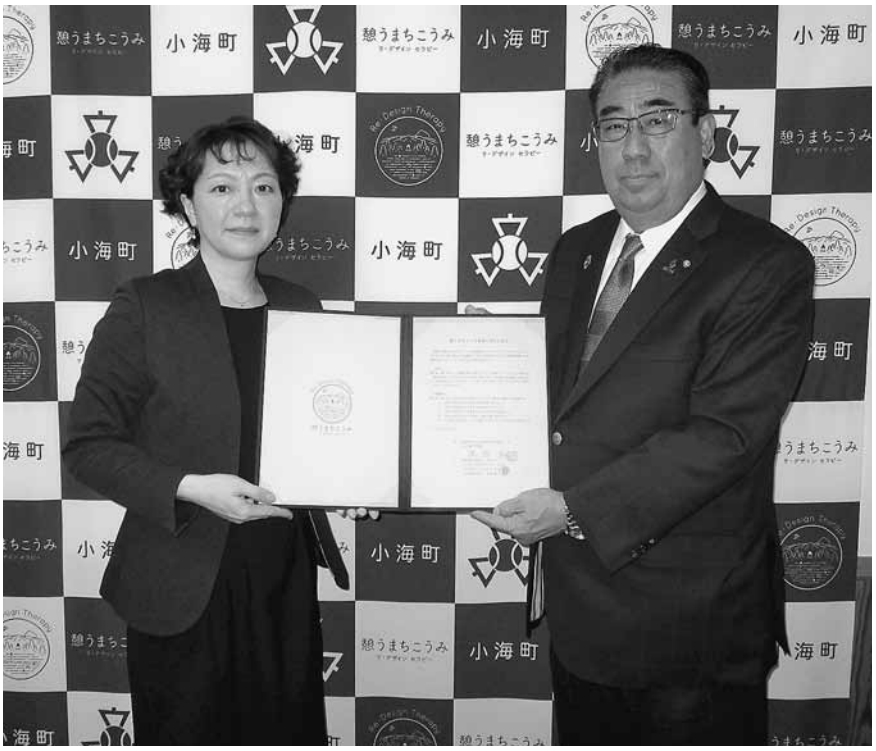
町志中世編纂委員
小池　權衛

広報こうみ　第188号
http://www.koumi-town.jp/　E-mail koumi@koumi-town.jp

憩（いこ）うまちこうみ　レポート25

令和４年（2022年）12月12日株式会社ジェーエムエーシステムズ様と24社目となる協定を締結いたしました。

株式会社ジェーエムエーシステムズ様は、日本能率協会内を母体としてソフトウェア産業の黎明期より50年にわたり数多くの情報システムを提供されてきた会社です。



（管理部代理：畠山　有美様）
JMAS株式会社　ジェーエムエーシステムズ

来年度から社員のリフレッシュトレーニングに、Re:Designセラピープログラムをご活用いただけることになっております。

コロナ禍での移動制限等により協定企業の皆様が来町する機会も減っておりましたが、今年に入り少しずつですが、回復しつつあります。

協定企業数も増え、来年度から新たなセラピストを募集しております。

ご興味のある方は、総務課渉外戦略係までご連絡ください。

もくじ

憩うまちこうみ　レポート25 …… 10
町税等納期のお知らせ …… 11
インボイス制度説明会のご案内／確定申告のお知らせ …… 11
知事との県民対話集会を開催いたします …… 12
令和５年 春季自衛官等募集案内 …… 12
民生･児童委員は、地域福祉をサポートする身近な相談相手です …… 13
緊急支援給付金の給付を開始しています …… 13
がん検診(子宮総合検診、乳房検診)の受診はお済みですか? …… 14
歯周病検診の受診はお済みですか？ …… 14
令和４年度 長野県園芸特産業関係者表彰式について …… 15
ワイン用ぶどうの試験栽培にご協力いただける方を募集 …… 15
チャイルドシート購入費補助制度をご利用ください …… 15
小海町農業資材等価格高騰に対する支援について …… 16
「第32回氷上トライアスロン小海大会」
　参加者・ボランティアスタッフ募集 …… 17
2022 ROUTE日本海－太平洋シンポジウム・
　女性みちの会交流会が開催されました …… 17
長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例 …… 17
長野県特定（産業別）最低賃金のお知らせ …… 18
消防本部から「救急車適正利用」のお願い …… 18
子育て支援だより …… 19
やすらぎ園だより …… 20～23

町税等納期のお知らせ 〈令和5年1月～2月の納期は下記のとおりです〉

口座振替日	国民健康保険税	介護保険料	後期高齢者医療保険料
1月26日㈭	**7期**	**7期**	**7期**
2月27日㈪	**8期**	**8期**	**8期**

年度末が迫ってまいりました。今年度の税金等の納付忘れはございませんか？
税金等の納付忘れがないかもう一度ご確認をお願いいたします

町税等の口座振替をご利用の方は納付月の26日が振替日となります。
前日までに残高の確認をお願いいたします。
※26日が土・日・祝日の場合は翌平日に振替えます。
また、窓口納付の方につきましては、**納期限が各納付月の月末**となります。
窓口納付の方は、便利な口座振替のご利用をおすすめします。
納税が遅れますと、督促状が送られ督促手数料が発生しますので、必ず納期限内に納税をお願いいたします。

インボイス制度説明会のご案内

◆**事業者の方向けにインボイス制度に関する説明会を次のとおり開催します。**
令和５年10月から開始する消費税のインボイス制度の概要や消費税の基本的な仕組みについて説明を行いますので、ぜひご参加ください。

会　　場　佐久市佐久平交流センター　第５会議室　佐久市佐久平駅南４－１
※説明会の会場は、佐久税務署ではありません。ご注意ください。
日　　時　令和５年１月12日㈭ 午前10時から11時まで、令和５年３月23日㈭ 午前10時から11時まで
定　　員　各回50名（事前登録制）
そ の 他　新型コロナウイルス感染症の感染状況等により説明会の開催を延期又は中止する場合があります。
問合せ先　佐久税務署　法人課税第一部門　0267-67-3460（代表）

佐久税務署から 確定申告のお知らせ

◆**確定申告には、ご自宅からスマホ・パソコンでご利用いただけるe-Tax・スマホ申告が便利です。**
確定申告会場に出向かなくても、マイナンバーカードをお持ちの方はマイナンバーカード読取対応のスマホ又はICカードリーダライタを利用して、e-Taxで申告書を提出できます。
マイナンバーカードをお持ちでない方は、お早めの取得をお願いします。
感染防止の観点からも、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」を用いて、ぜひご自宅からe-Taxをご利用ください。

【確定申告書等作成コーナー】

《確定申告などに関するお問合せ》
国税庁ホームページ「タックスアンサー」・「チャットボット（ふたば）」をご利用ください。

《e-Tax・作成コーナーの操作などに関するお問合せ》
「e-Tax・作成コーナーヘルプデスク」（☎ 0570-01-5901）
【受付】月曜～金曜（祝日等及び12月29日～１月３日を除きます）

◆**所得税・個人消費税・贈与税の確定申告会場を次のとおり開設いたします。**
★**確定申告会場はスマホ申告を基本として運営します。**
スマホをお持ちの方は、スマホを利用して申告書を作成していただきます。

国税庁LINE公式アカウント

会　場　佐久税務署　別館２階会議室
期　間　令和５年２月１日㈬から３月15日㈬まで
土、日及び祝日を除きます。
時　間　相談受付：午前８時30分から午後４時まで　　相談開始：午前９時から
確定申告会場の入場には、当日配付又は国税庁LINE公式アカウントから事前に取得した入場整理券が必要です。
※確定申告会場に来場される際は、マスクを着用していただき、少人数でお越しください。
※入場の際に検温を実施しています。咳・発熱等の症状のある方は入場をお断りさせていただきます。
※午後４時前であっても、相談受付を終了する場合があります。

知事との県民対話集会を開催いたします

「対話と共創」の県政を推進するため、知事が県内すべての市町村を訪問し、市町村長や県民の皆様とテーマに沿って語り合う「知事との県民集会を下記のとおり開催いたします。
県知事と直接対話できるよい機会ですので、ぜひご参加ください。
尚、詳細等につきましては決まり次第、防災無線などでご案内させていただきます。

●開催日　令和５年２月18日(土)
●時　間　午前10時30分から正午まで
●場　所　小海町役場　２階大会議室

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、会場の変更、入場制限や中止となる可能性があります。

令和５年 春季自衛官等募集案内

1　自衛官候補生

（任期制自衛官として任期満了時に、継続か退職か自己を見つめ直すチャンスのある制度！）

・**受験資格**：18歳以上33歳未満の男女
・**採用時期**：令和５年３月下旬
・**受付期間**：○１月試験　令和５年１月16日(月)まで
　○２月試験　令和５年２月６日(月)まで
　○３月試験　令和５年２月28日(火)まで
・**採用試験**：○１月試験
　学科試験（Web）　令和５年１月20日(金)～22日(日)　※内１日を選択
　口述・身体検査　令和５年１月29日(日)
　○２月試験
　学科試験（Web）　令和５年２月12日(日)～14日(火)　※内１日を選択
　口述・身体検査　令和５年２月18日(土)
　○３月試験
　学科試験（Web）　令和５年３月５日(日)～６日(月)　※内１日を選択
　口述・身体検査　令和５年３月11日(土)

2　東信地区公務員合同説明会（予定）

⑴　**参加団体**
　長野県警、佐久広域連合消防本部、自衛隊
⑵　**時　期**　令和５年２月19日(日)
　※別途、自衛隊長野地方協力本部HPでお知らせ
⑶　**場　所**　佐久平交流センター

令和４年度の採用人員数に達した場合、採用試験を見送らせていただく可能性があります。また、資格等については、条件により異なります。詳しくは自衛官募集ホームページをご覧になるか、自衛隊長野地方協力本部上田地域事務所までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先：自衛隊上田地域事務所　※令和４年12月より下記に移転しました。
住　所：上田市中央西２-3-13　上田法務総合庁舎１F（上田税務署向かい）
電話・FAX：0268-22-5267
詳しくは　長野地本　検索
Twitter

お気軽にご相談ください

民生・児童委員は、地域福祉をサポートする身近な相談相手です

任期満了による一斉改選により、新たに民生・児童委員の皆さんが、厚生労働大臣から委嘱されました。民生委員制度は大正６年に岡山県で創設され、制度創設後すでに100年を超えております。制度創設から地域住民の身近な相談相手、行政と協力しながら活動するボランティアで、地域住民の立場に立って皆様の暮らしを支援活動する方々です。

任期は令和４年12月１日から３年間です。

子育てに関すること、高齢者の介護に関すること、健康・医療に関することなど生活の中で気になっていることがございましたら、お気軽にご相談ください。

民生・児童委員には守秘義務がありますので、皆様から受けた相談内容は固く守られます。

民生・児童委員名簿　任期：R4.12.1～R7.11.30（敬称略）

新任・再任	氏　名	担当地区	新任・再任	氏　名	担当地区
新　任	嶋田　琴二	本間下、本間上、宮下	新　任	松本　英一	本村
新　任	菊池　賢二	本間川､溝の原､五箇､杉尾	新　任	新井　富美江	親沢、川平
新　任	篠原　純子	馬流元町、馬流高根町	新　任	油井　正仁	卒道、笠原、宿渡
新　任	篠原　きし子	馬流本町、馬流清水町	新　任	土橋　秀治	土村南町
新　任	菊池　一巳	鎰掛、二タ小池	新　任	久保　勢津子	土村旭町
再任(副会長)	小池　和惠	八那池	新　任	有坂　富士子	土村栄町
再任(副会長)	鷹野　きよ子	松原	新　任	木次　眞理子	土村清水町
新　任	田中　つぎ子	芦平、稲子	再任（会長）	中島　光行	東馬流
新　任	新井　美代子	箕輪、芦谷、大畑	再　任	小池　律子	主任児童委員
新　任	津金　りう子	小海原、中村、大州			

民生・児童委員に関するお問い合わせは、町民課高齢者支援係までお願いします。

緊急支援給付金の給付を開始しています

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯・住民税所得割非課税世帯）に対し、給付金を支給します。

①住民税非課税世帯への給付金

対象世帯　世帯全員の令和４年度の住民税が非課税の世帯
支 給 額　１世帯当たり50,000円
支給時期　12月中旬から随時支給

12月５日から該当世帯にはご案内しております。お手続きがお済みでない方は、お早めにお手続きをお願いいたします。

②住民税所得割非課税世帯への給付金

対象世帯　世帯全員の令和４年度の住民税の所得割非課税の世帯
支 給 額　１世帯当たり30,000円
支給時期　令和５年１月下旬から支給

令和５年１月から該当世帯にはご案内しますので所定のお手続きをお願いいたします。

ご不明な点等がございましたら、町民課社会福祉係（0267-92-2525）までお問い合わせください。

がん検診（子宮総合検診、乳房検診）の受診はお済みですか？

今年度対象者の方には、５月に役場から受診券をお送りしております。この受診券を下記医療機関で使用すると、無料で検診を受けることができます。期間は令和５年３月31日までとなっております。

受診をお忘れではありませんか？年齢が対象で受診がまだの方は、お早めに受診してください。

●**女性検診対象者**

（子宮）：20歳（平成13年４月２日～平成14年４月１日生まれ）
25歳（平成８年４月２日～平成９年４月１日生まれ）
55歳（昭和41年４月２日～昭和42年４月１日生まれ）
60歳（昭和36年４月２日～昭和37年４月１日生まれ）
（乳房マンモグラフィ）：40歳（昭和56年４月２日～昭和57年４月１日生まれ）

●**申込方法**：下記医療機関へ電話でご予約ください。

医療機関名	電話番号	予約受付時間	子宮	乳房
斎藤産婦人科医院	0267－62－0823	平日　午前９時～11時30分、午後３時～５時30分 （水曜日、第1.3.5土曜日　午前9時～11時30分）	○	
いまいレディースクリニック	0267－66－7050	平日　午前９時～正午、午後３時～６時 （木曜日、土曜日　午前９時～正午）	○	
浅間総合病院	0267－67－6477	平日　午前９時～正午、午後２時～午後４時30分	○	○
増田医院	0267－66－0303	月火水金　午前9時～12時30分、午後3時～5時30分 木土　午前9時～12時30分		○

※受診券を無くされた方は、町民課（0267-92-2525）までご連絡ください。

歯周病検診の受診はお済みですか？

お口の健康は、全身の病気や生活習慣との深い関連があります。年齢を重ねても、歯・お口の健康を保つために、定期的な健診や毎日のお手入れがとても大切です。

下記の年齢に該当する方は、無料で検診を受けることができます。期間は令和５年３月31日までとなっております。５月に役場から送付しました受診券をお持ちの上、ぜひこの機会に検診を受けましょう。

●**検診対象者**：今年度に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる方

●**申込方法**：下記歯科医院へ電話でご予約ください。

検診実施機関名	電話番号
にいつ歯科医院	９２－２０３４
羽毛田歯科医院	９２－２２０８
渡辺歯科医院	９２－２１９５

※受診券を無くされた方は、町民課（0267-92-2525）までご連絡ください。

小海町・北相木村・南相木村花卉振興協議会

令和4年度 長野県園芸特産業関係者表彰式について

11月24日㈭　長野市で行われた長野県園芸特産業関係功労者表彰式において、小海町・北相木村・南相木村花卉振興協議会が功労者表彰をいただきました。県より「花卉振興協議会は昭和44年より53年間、小海町、北相木村、南相木村の花卉生産振興と生産農家の相互関係を深め花卉振興に努めた。他産業との競合に競り勝つため、技術研修会等を重ね生産者の栽培技術向上、地域風土に合う品種への改良と普及を図り産地の模範となって産業の発展に御尽力された」と高く評価されました。北相木村の渡辺邦保会長に代わって表彰式に出席した小海町の篠原満副会長は「諸先輩方の努力の賜物。小海町、地域の産業をこれからも維持していきたい」と意気込みを語っておりました。

ワイン用ぶどうの試験栽培にご協力いただける方を募集します

小海町ではワイン用ブドウの産地化へ向け親沢地区、笠原地区で試験栽培を行っています。今後、川西地区での試験栽培を検討しており、試験栽培にご協力いただける方を募集しています。ご協力いただける方は下記担当係までご連絡をお願い致します。

電話 0267-92-2525　産業建設課農林係

チャイルドシート購入費補助制度をご利用ください

６歳未満の子どもはチャイルドシートの使用が義務づけられており、町では、チャイルドシートの購入費に対して補助を行っています。

補助金の額は、対象児１人につき上限１万円です（購入費が１万円未満の場合は、購入費実費負担分とし、千円未満は切捨とします）。

対象は、保護者及び子どもの住所が小海町にあり、満６歳未満の子どものいる保護者です。申請には、役場にあります申請書と購入した際の領収書、チャイルドシートの保証書または取り扱い説明書の写しをご提出ください。

詳しくは、町民課生活環境係 0267-92-2525までお問い合わせください。

農業者の皆様へ

小海町農業資材等価格高騰に対する支援について

世界情勢による燃料価格や農業生産資材等の価格高騰の影響を受けている農業者に支援金を交付します。

1．対象者：

町内に住所を有する個人または町内に主たる事業所を有する法人のうち、町税等の滞納がない者で、次のいずれかに該当する者

・令和３年分確定申告等において、農業収入がある者（個人の場合）

・直前の事業年度確定申告等において、農業収入がある者（法人の場合）

2．支援金交付額：

令和３年分確定申告等（法人の場合は直前の事業年度確定申告）において、農業に係る経費として申告したもののうち、「肥料費、諸材料費、動力光熱費」の合計額の５％（千円未満切捨て）とし、上限額の範囲内により次のとおり交付します。

※令和４年から営農を始めた者は、令和４年分確定申告等において、上記経費の合計額に基づき次の支援金額の範囲内で交付します。

肥料費、諸材料費、動力光熱費の合計額	支援金額	支援金上限額
5,000,000円以下	左記の合計額×５％（千円未満切捨て）	250,000円
5,000,001円～10,000,000円		275,000円
10,000,001円以上		300,000円

3．申請受付期間：令和５年２月28日まで

4．提出書類

【個人・法人共通】

小海町農業資材等価格高騰対策支援金交付申請書兼請求書（様式第１号）

誓約書（様式第２号）

振込先口座の通帳表紙裏ページの写し（口座名義・口座番号の分かるページ）

【個人】

令和３年分所得税青色申告決算書（農業所得用）の写し（青色申告の場合）

令和３年分収支内訳書（農業所得用）の写し（白色・町県民税申告の場合）

令和４年から開始した者は、令和４年分確定申告等書類

【法人】　直前の事業年度確定申告等に添付した農業における経費が分かる書類の写し

5．申請受付場所・お問い合わせ先

産業建設課農林係　電話：0267-92-2525

「第32回氷上トライアスロン小海大会」参加者・ボランティアスタッフ募集

２年にわたり延期となっていた「第32回氷上トライアスロン小海大会」の開催が決定しました。小海町の冬の風物詩である氷上トライアスロンに挑戦する参加者と、ボランティアスタッフを募集します。

※今後の感染状況により、内容が変更または延期となる可能性があります。

【日時・会場】 日時　令和５年１月29日㈰
会場　ガトーキングダム小海、松原湖高原スケートセンターおよび周辺道路

【参加者募集】 競技種目　スキー３km　ランニング16km　スケート10km
募集部門　・一般部門　同一選手が３種目競技を連続して行う。
・リレー部門　２名又は３名で競技を行う。
詳しくは小海町ホームページをご覧ください。

【ボランティアスタッフ募集】
ボランティアを募集します。お手伝いいただく内容　コース設営、選手誘導など

【お問合せ先】氷上トライアスロン小海大会事務局（産業建設課商工観光係　0267-92-2525）

2022 ROUTE 日本海－太平洋シンポジウム・女性みちの会交流会が開催されました

令和４年11月11日㈮に佐久平交流センターに於いて「2022ROUTE日本海－太平洋シンポジウム・女性みちの会交流会」が開催されました。

新潟・長野・山梨・静岡４県の関係者が、中部横断自動車道の未整備区間である（仮称）長坂ジャンクションから八千穂高原インターチェンジ間の事業化を目指し、シンポジウムが開かれ、未整備区間にある小海町からも、町長をはじめ議会議員、こうみ女性みちの会の会員が参加しました。

女性みちの会交流会では、会長の井出とき子さんから女性の視点でのみち整備や早期全線開通についての要望や意見を発表して頂きました。

一定規模以上の土砂等の盛土等に許可が必要なります

【長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例】

盛土等による土砂等の崩落等による災害の発生を防止するため、「長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例」が制定されました。この条例により、令和５年１月１日以降に行う一定規模以上の盛土等については、原則、県の許可が必要になります。

◆主な規制項目
- 面積が3,000平方メートル以上または高さが５ｍ以上の土砂等の盛土等を行う場合には県の許可が必要になります。
- 県の許可を受けるにあたっては、周辺地域の住民に許可申請の内容を周知する必要があります。
- 土地の所有者の方は盛土等の施工状況を定期的に確認する必要があります。
- 条例の規定に違反した場合は、罰則（最大２年以下の懲役又は100万円以下の罰金）が適用されることがあります。

◆手数料（１件あたりの金額）
- 新規の許可　55,000円
- 変更の許可　34,000円
- 譲受けの許可　34,000円

問い合わせ先（平日8：30～17：15）
長野県建設部砂防課調査管理係
TEL　：026-235-7316
E-mail：sabo@pref.nagano.lg.jp

長野県特定（産業別）最低賃金のお知らせ

最低賃金制度は、最低賃金法に基づき、使用者は、その金額以上の賃金を労働者に支払わなければならないとされている制度です。

今般、長野県地域最低賃金の改正に続いて、長野県内の特定の産業で働く労働者に適用される「特定（産業別）最低賃金」が以下のとおり改正されました。

なお、適用業種等の詳細については、長野労働局ホームページでご確認ください。

【対象業種】	【時間額(令和3年改定額)】	【発効年月日】
計量器・測定器等製造業	９４５円（９１６円）	令和４年１２月１４日
はん用機械器具等製造業	９５６円（９２７円）	令和４年１２月１６日
各種商品小売業	９１０円（８７９円）	令和４年１２月３１日
※長野県地域最低賃金	９０８円（８７７円）	令和４年１０月　１日

【お問い合わせ先】

長野労働局労働基準部賃金室（☎026-223-0555）
または最寄りの労働基準監督署へ

消防本部から「救急車適正利用」のお願い

「救急搬送困難事案」という言葉を聞いたことがありますか？

救急車が到着してから、医療機関へ搬送するまでに時間がかかる事案のことです。

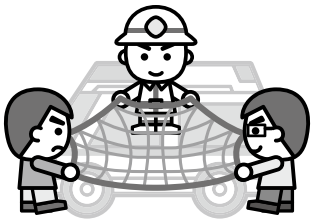
※「救急隊から医療機関への受け入れ照会回数４回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」

佐久広域管内では、新型コロナウイルス感染症感染者が増加する中で、「救急搬送困難事案」が増加しています。

救急車の台数や医療機関のスタッフ数には限りがあり、軽症者の対応中に緊急性の高い症状の方の搬送が遅れてしまうことがあるかもしれません。緊急性の高い症状の方ができるだけ早く搬送されるように、救急車の適正な利用にご協力をお願いします。

「救急車を呼ぶべきか」迷う場合は、消防庁の「救急受診ガイド」や「全国版救急受診アプリ　Q助」を活用してください。

救急車は地域を守る
セーフティーネット



救急車を呼ぶ前に考えよう

総務省消防庁
「Q助（きゅーすけ）」
案内サイト

全国版救急受診アプリ
Q助
きゅーすけ

佐久広域連合消防本部
佐久市中込2947番地
電話0267-64-0119（代）

子育て支援だより

1・2月の子育て支援教室

お問合わせ
小海なかよし児童館　92-2580

子育て支援センター事業【乳幼児親子対象】

★おもちゃランド
- 1月26日㈭　10時～　「鬼は外」
- 2月9日㈭　10時～　「作ってあそぼう」

★パパ・ママ　カンガルーひろば
- 1月16日㈪　10時～　「アクティブにいこう」
- 2月21日㈫　10時～　「まる得ママ会」

児童館事業【小学生対象】

★子ども教室
- 1月18日㈬　放課後～　「将棋・オセロ」
- 2月15日㈬　放課後～　「紙しばい」

次世代育成事業

★元気な小海っ子
【小学生以下の児童とその保護者対象】
- 1月22日㈰　8時45分～　「親子スケート教室」

★子ども探検隊【小学生対象】
- 2月18日㈯　9時～　「雪あそび」

※各教室は新型コロナウイルス等感染症対策のため延期、又は中止になることもありますのでご了承ください。

乳幼児親子のみなさん
子育て支援センターへお出かけください

小海なかよし児童館では、平日の午前中、町内の乳幼児親子のみなさんを対象に、子育て支援センターを開設しています。

お子さんの遊び場所としてだけでなく、保護者同士の情報交換や仲間づくりの場にもなっています。お電話でご予約のうえ、お気軽にお出かけください。

季節ごとのイベント、教室なども行っています。年間計画は町ホームページをご覧ください。

結婚推進事業　～婚活のすすめ～

◆白樺結婚相談
（小海町・佐久穂町・南相木村・北相木村）
- 1月15日㈰ 13時30分～16時
- 2月19日㈰ 13時30分～16時

佐久穂町 八千穂福祉センター
（佐久穂町畑143-1）

◇小海町結婚相談
月～金曜日の8時30分～17時15分まで、小海なかよし児童館にて受付けております。お気軽にご相談ください。

※相談はご本人でもご家族でも結構です。
※感染症対策のため中止になることもありますので、町ホームページでご確認ください。

「ながの結婚マッチングシステム」登録受付中です
3,000円で1年間利用可能な女性向けキャンペーンを実施中！

長野県婚活支援センターが運営する「ながの結婚マッチングシステム」に登録すれば、ご自分のスマートフォンやパソコンからいつでもお相手を探すことができます。詳しくは、ながの結婚マッチングシステムのホームページをご覧いただくか、子育て支援係までお問合わせください。

ながの結婚マッチングシステムホームページ
https://www.nagano-aimatch.jp/matching/

～理念～　誰もが皆、自分らしく生きる為に、支え合う地域づくりを目指します

やすらぎ園だより

No.198

〈編集・発行〉社会福祉法人　小海町社会福祉協議会／〒384-1103　長野県南佐久郡小海町大字豊里805番地　ＴＥＬ．92−4107㈹　ＦＡＸ．92−2457

小海町社会福祉協議会 法人会費にご協力いただき、ありがとうございました

法人会員　30件　　総額　460,000円

法人会員の皆様から貴重な社協会費を納入頂きました。地域福祉事業等に役立たせていただき、誰もが皆安心安全な地域づくりを目指し、食事サービス事業、介護予防事業、障がい者の余暇活動などに活用させていただきます。

令和４年度法人会員会費納入実績　　R4.12.15現在

会　社　名	金　額	会　社　名	金　額
八十二銀行小海支店	5,000	篠原製作所	20,000
㈲なかじま建築	10,000	高原のパンやさん	10,000
株式会社 黒澤組	20,000	風とり	10,000
株式会社 新津組	20,000	㈲土橋工務店	10,000
豊里薬局	10,000	㈱ヤナショウ	20,000
内田孔建設株式会社	20,000	新和オート	10,000
清水屋商店	20,000	山口自動車販売㈲	20,000
㈲カクナン	20,000	サン・カーズ㈱	20,000
加藤商会	10,000	ナナーズ小海店	10,000
株式会社 北原組	20,000	黒沢燃料㈲	10,000
シャトレーゼリゾート八ヶ岳㈱	20,000	特別養護老人ホームこうみの里	20,000
小海環境サービス	20,000	社団法人 小海町開発公社	5,000
㈱新津テレビ	10,000	南佐久中部森林組合	10,000
JA長野八ヶ岳農協	20,000	株式会社 みつわ	20,000
㈲陸大	20,000	小海郵便局	20,000
		合　計	460,000

福祉風呂
「やすらぎの湯」のご案内

やすらぎの湯では、１ヵ月毎に変わる季節湯やイベントなどを開催しております。１月は、17日から20日まで、お楽しみ風呂（松の葉風呂）を企画しています。皆様お誘い合わせてお越しください。

利用日は、月曜日から金曜日まで、時間は、午前９時から午後３時までです。

詳細は、社会福祉協議会 電話92-4107までお問い合わせください。

園児のみなさんありがとう！

小海保育所の年少さんが、勤労感謝の日に素敵なプレゼントを持って来て下さいました。大切に飾らせていただきます。

視察研修に行ってきました！

11月24日、小海町赤十字奉仕団視察研修で神奈川県横浜市にある「海上保安資料館」「日清カップヌードルミュージアム」へ行きました。

海上保安資料館では、平成13年12月22日に起きた「九州南西海域における工作船事件」の北朝鮮工作船や回収した武器等が展示してありました。この工作船は、覚せい剤の取引に使用されていた疑いが濃厚であること、工作員の不法出入国等の重大犯罪にも利用されていた可能性があるとの事です。事件の映像と実物を見る事で、海上保安官の活躍を学べました。

日清カップヌードルミュージアムでは、インスタントラーメンの歴史や日清食品創業者・安藤百福の生涯や想いを学び、オリジナルのカップヌードルを作りました。災害時に必要不可欠なカップラーメンを深く知ることが出来ました。

お昼はクルーズ船での中華バイキングでした。天気にも恵まれ充実した研修となりました。

希望の旅に行ってきました！

11月10日、11日の１泊２日で群馬県の猿ヶ京温泉方面に行ってきました。希望の旅とは障がいのために外出の機会の少ない方々、またその介護者を対象に行われ、観光を楽しみながらの交流と心身のリフレッシュをしていただく事業です。

１日目は観光農園で昼食を食べ、沼田市にある国指定天然記念物の「吹割の滝」を見学をしました。秋の紅葉のなか遊歩道を散策し、マイナスイオンをたっぷり浴びてきました。その後、みなかみ町の〝たくみの里〟で押し花、くるみのキーホルダー作り体験に分かれて、あれこれ考えながらオリジナルの作品を作りました。

２日目は全国道の駅ナンバー１に選ばれた、「道の駅　川場田園プラザ」に行き、散策したりお土産を買ったりして楽しみ、前橋市でおいしい昼食を食べて帰路に着きました。今回は初めて参加された方もいて、交流の深まる楽しい旅になりました。

長野県まちづくり・ボランティアフォーラム開催されました

12月３日㈯４日㈰に、長野県まちづくり・ボランティアフォーラム2022が開催されました。このフォーラムは、多様な地域、多様な世代、多様な肩書の人々が、一人のボランティアの立場で集い、学び、交流する場として、昭和51年にスタートし、昨年度からは社会教育と地域福祉がもっとつながることを目指して、学びを深めてきました。今年は、佐久地域が開催地ということで、佐久大学を会場に、大学生との交流を楽しみにしていましたが、直前で、コロナのため、オンライン配信となってしまいました。

一日目、第１部では、地域力の源を知ろう！ということで、小海おはなし本舗の菊原修一さんが登壇し、活動のきっかけや現状などを発表されました。第２部では、佐久大学と地域を結ぶ取り組みについて、ここでも、小海町役場職員が登壇し、学生を受け入れることで、地域にも変容があると発表されました。

二日目は、６つの分科会の中の、３分科会を視聴しました。自動販売機で購入すると、収益の一部が防犯カメラ設置に利用されるなど、知らなかった企業の取り組みや、地域を知り、後世に伝えていこうとしている人たちの取り組みなどを学ぶことができました。

菊の鉢植え配布

ボランティアグループ花を愛する会では、10月に、小海町の各施設（小海診療所、老健こうみ、特養こうみの里、ひまわりわーくす、ねむの木、あゆみ園、やすらぎ園）に、菊の鉢植えを配布しました。赤や黄色の丸い菊の鉢植えは、晩秋頃まで、それぞれの施設の玄関先をにぎやかに彩ってくれたことと思います。

ボランティアとは

誰もが人間らしく豊かに暮らせる社会になるよう、身近なところでできることを、自らすすんで行う活動です。金銭的な報酬を期待せずに行う活動であり、お金では得られない出会いや発見、感動が得られます。

ボランティアのメリット８選

幅広い世代の人と交流できる	普段できないような体験ができる	自分の活動が社会貢献に繋がっていると実感できる
知識や知見、考え方の幅が増える	生きていく上でのヒントが得られる	感謝の言葉がもらえる
多様性を実感できる	スキルが身につく	

社会福祉協議会は、ボランティア活動をしている皆さんを応援する窓口です。ボランティアに興味のある方、これから活動したい方、ご相談ください。

ボランティアポイントの交換はお済みですか？

社協では、町内で活動するボランティアの皆さんを少しでも応援する為に、活動ごとにボランティアポイント（P-ポイント）を付与しています。

ボランティアポイント手帳とP-ポイントカードをお持ちの上、社協窓口にお越しください。

ボランティア山羊さん、帰省しました

夏休みから、佐久平総合技術高校より、２頭の山羊さんが、ボランティアに来てくれていました。

花の里やすらぎ公園の土手に放された山羊さんは人懐っこくて、散歩に来た園児の皆さんや私たちを、日々癒してくれました。また、土手の草もきれいに食べてくれて、ボランティア山羊さん大活躍でした。来年もまた、来てくれるかな？　お楽しみに！

未来へはばたけ

広島東洋カープ入団

プロ野球広島東洋カープドラフト２位で入団が決まった内田湘大選手（利根商業高等学校・本間川）

ジュニアワールドカップ銀メダル

表彰式の様子（写真左）

11月26日、27日にフィンランドで行われたジュニアワールドカップスピードスケートセイナヨキ大会の女子1500Mで銀メダルを獲得した畠山雪菜さん（小海高等学校・新開）

この広報紙は環境にやさしいインキを使用しています。